

## 2. 目 標 達 成 計 画

グループホームむれが岡風車の宿

令和3年8月20日

### 【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題                                               | 目 標                                                                       | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                       | 目標達成に要する期間                            |
|------|------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1    | 20   | 家族との交流が容易にとれないホーム任せの家族があり、急変時の連絡などの対応が難しい。                 | 年2回今迄、法人主催で行っていた家族会をホーム独自開催することになった。参加を依頼して、今後の事など、交流を深めて進めて行きたい。         | ここ2年間はコロナ禍にて、開催は難しくなっているので、収束までは書面にてホームでの様子を報告していく。      | コロナの収束、緩和の様子を見ながら考慮していく。「1年間」         |
| 2    | 34   | 新型コロナウイルス感染が収束せず、家族との面会が思うようにできない。                         | 利用者、職員全員、コロナのワクチン接種は終了しているが、まだまだ、油断はできないので、外部との接触や感染予防の徹底していく。            | 利用者のホームでの生活様子を、ホームの機関誌にて、収束するまで、写真、作品等を掲載し送付する。          | コロナが収束して問題なく面会できるまで。                  |
| 3    | 32   | 利用者の高齢化により、重度化、終末ケアに対して、新職員が1/2を占めているので職員のスキル不足に対して不安感がある。 | 協力病院の往診、訪問看護を受けているが、利用者の家族や本人がホームでの看取りを希望された場合、最後まで関わって行きたい。              | その為には、職員の資格習得や看取りの研修をホームの内外で受け職員全員のスキルアップに努める。           | 時間、期間を要するので暫くは、容態を見ながらかかりつけ医に入院措置を取る。 |
| 4    | 41   | 利用者が歩行困難、車椅子使用が半数を占めている、買い物、外食、散歩等が思うように出来なくなっている。         | 今迄は月に1回は外出の行事を計画していたが、コロナ禍もあるけど、外出は難しい。ホーム近辺での楽しみを見つけ不安解消、気分転換できるように支援する。 | 同敷地内にある、保育園児と一緒に、夏祭参加、ソーメン流し、運動会見学参加し交流して、利用者の能力を把握していく。 | 1年間                                   |
| 5    |      |                                                            |                                                                           |                                                          |                                       |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。